

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和6年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,345	t-CO ₂
① （温を除く 二室除 酸効く 化果 炭ガ 素換 排 算 量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		2,345

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 令和9年度	
			目標排出量	目標削減率
温室効果ガス 総排出量		t-CO ₂	t-CO ₂	%

項目	基準年度 令和6年度 排出量（実績）		目標年度 令和9年度		
			目標排出量	目標削減率	
原単位当たりの 排出量	155.9	kg-CO ₂ / 百万円	151.2	kg-CO ₂ / 百万円	3.0 %

（2）目標設定の考え方

温室効果ガスの原単位当たりの排出量を1年間に1%ずつ、3年間で3%削減する。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
(1) 省エネルギー・省資源行動の推進 (冷暖房)	① 設定温度管理 冷房27℃ 暖房20℃ ② 空調機フィルターの定期的な清掃 ③ 空調機稼働時間の短縮	①～③ 全社員で取組み頂けるように本活動を周知
(2) 省エネルギー・省資源行動の推進 (照明・OA機器)	① 不要時の消灯実施 ② 使用していない電子機器の電源オフ ③ パソコンのスリープ機能利用の徹底 ④ LED照明への切替	①～③ 全社員で取組み頂けるように本活動を周知 ④総務Sec.が現状・計画をまとめて推進
(3) 自動車利用における取組	① エコドライブの推進 (急発進・急停車は極力しない、アイドリングストップを心掛ける等) ② 不要な荷物を積んだ状態で運転しない ③ 低公害車の導入	①～② 全社員で取組み頂けるように本活動を周知 ③総務Sec.が現状・計画をまとめて推進

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	%

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

--

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

<ul style="list-style-type: none">・裏紙利用による紙使用量の削減・古紙などを分別回収しリサイクル

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

ノー残業デー (毎月第二金曜日) に全従業員が定時退勤するよう管理本部・各部門長にて管理を実施
